

# 県内経済の動き

## 概況

〔2022年12月～2023年2月の動き〕

### WBCやキャンプ効果で県内経済に押し上げの動き

鉱工業生産指数（12月）は4カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（1月 細島港）は4カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（1月 全店ベース）は16カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（2月）は6カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（1月）は3カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（2月 保証対象請負総額）は8カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（1月）は前月比+0.01ポイントの1.44倍で、2月の企業倒産は前月比1件増の3件、負債額は同68百万円増の1億57百万円となった。

2月はWBCキャンプ等による観光や飲食、消費への波及効果がみられた。賃上げ等で物価上昇の影響を抑制できるかが、さらなる好循環のカギを握る。